

こんな活動です

「出あう、つながる、ふるさとで自ら育つ」をテーマに、街の歴史と伝統文化を活かし、地域とのつながりを創る!!!

神奈川県鎌倉市		●活動名 放課後かまくらっ子			●関係する学校名 鎌倉市立深沢小学校 鎌倉市立富士塚小学校 鎌倉市立小坂小学校 鎌倉市立関谷小学校 鎌倉市立御成小学校 鎌倉市立第一小学校 鎌倉市立第二小学校 鎌倉市立大船小学校 鎌倉市立七里が浜小学校		
協働活動開始年度	平成 30 年度	学校運営協議会	指定・設置日 令和4年4月1日設置予定	地域学校協働本部	無		
活動区分	—	地域課題解決学習		地域人材育成			
	—	放課後子供教室					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	1人			13人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無		
	103人						
参考URL	http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/seisyo/kamakurakko2020.html						
●連絡先	鎌倉市こどもみらい部青少年課青少年担当			☎ 0467-61-3886			



※新型コロナウイルス感染拡大前の写真です

●活動の概要・経緯
「子どもたちにより豊かに放課後を過ごしてもらいたい」という思いから、市内2か所で実施していた放課後子ども教室を全市域に広げ、放課後児童クラブと一体となった「放課後かまくらっ子」が立ち上がった。現在は教育委員会との連携を強化し、放課後教育でできることについて、有識者からなる推進部会を設置し、「出あう、つながる、ふるさとで自ら育つ」をテーマに、多様な地域住民や、市内のNPO、大学生、さらには中高生の協力も得て、鎌倉らしさを重視した活動を展開することに努めている。また、支援員やボランティアなど多くの地域人材への研修を月に一度程度開催しており、地域人材の育成にも力を入れている。
令和2年3月からは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、オンラインでの体験活動の展開の在り方について、コーディネーターが中心となったプロジェクトチームを結成し、コロナ禍でも子どもたちの体験の場を提供できるよう、オンラインプログラム実施に向けて取り組みを進めている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①放課後子供教室の体験活動の充実…普段の体験活動に加え、学校休校時も魅力ある体験活動が展開できるように、オンラインでの体験活動に向けた準備を積極的に推進。
- ②地域の人材を活かした活動…鎌倉という歴史や文化を生かした体験活動や、お寺での合宿体験など、地域に根差した活動を展開している認定NPO法人「鎌倉てらこや」や令和元年11月には鎌倉女子大とも協定を結び、鎌倉につながりのある大学生との関わりも重視している。
- ③市内の中学校、高等学校の部活動との連携…ボランティアとして活動してもらうだけでなく、JAXAと提携したプログラムを実施した際は、事前に中高生だけを対象とした研修会も実施し、これからの地域を担う人材として計画的に育成。
- ④保護者や地域住民との連携…放課後子供教室での講師等の関わりだけでなく、部活動支援、登校時の見守りや美化活動も各学校で実施。

【実施に当たっての工夫】

各小学校区における特徴を活かしつつも、コーディネーターや現場責任者だけでなく、職員を対象とした意見交換会を積極的に行うことで、横のつながりを強化している。また、外部から推進参与職と推進部会を設置し、毎月、助言を受けるとともに、調査研究を行うことで、成果や課題を明らかにし、広く発信している。このような取組により、地域だけでなく家庭の理解も大きく進んでいる。

【関係機関・団体等との連携状況】

各施設において、放課後児童クラブと一体的に実施しているため、両者に関わるスタッフの連携の充実を重視しており、さらに保護者会との連携に努めている。また、運営主体である指定管理者との情報交換を定期的に行うほか、地域のNPO団体等と協定を交わすなど、連携を強めている。今後、コミュニティスクールに向けて、教育委員会や学校側との連携をさらに図っていく予定である。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・放課後かまくらっ子についてのアンケート調査

令和元年度に6校において実施した調査(回収数：子ども 451、保護者305)では、次のような成果が明らかとなっている。(一部抜粋)
「いろいろな体験ができてよい(70.2%)」、「異学年の友だちが増えた(53.0%)」、「家でも話題として出ている(85.5%)」、「家で地域の人から習ったことを家族とやっている(33.5%)」、「学校にいくのが前よりも楽しみになった(43.6%)」、「地域で地域の人とあいさつなどをすることが増えた(34.5%)」、「地域のお掃除などに以前よりも参加するようになった(26.6%)」、「保護者自身も子どもの居場所づくりに対する意識が高くなった(51.5%)」

●その他

地域に根差した活動を展開している認定NPO法人「鎌倉てらこや」と連携し、鎌倉につながりのある大学生との関わりも重視している。



て来「
いて鎌
る倉
い倉
だて
ら
きこ
や
活の
動の
を学
を行生
っに



方ム中
の実高
研施生
修前を
をに対
を行象
行子
っど
ても
への
プ
ロ
グ
ラ
え
ら